

投 稿 規 定

1. 投稿資格：(1)北里医学会会員，(2)編集委員会から依頼された者，(3)北里大学医学部教員から推薦され，編集委員会の承認を受けた者。この規定は原則として共著者にも適用する。本誌に投稿した時点で他誌へ投稿していない（取り下げている）ことを条件とする。
2. 著者資格：研究の実際の遂行者とする。研究開始から公表に至る過程で，(1)計画，データ分析，解釈における貢献，(2)論文の草稿作成または校閲，(3)出版原稿の最終承認，を満たしていなければならない。この規定は共著者にも適用する。左記以外の貢献者は謝辞に記載する。
3. 利益相反の開示：投稿論文の内容に関し，筆頭者及び責任著者の当該論文に関する利益相反に関する事項について，巻末の利益相反記載様式を用いて開示しなければならない。開示内容は掲載論文の末尾に記載し公表する。利益相反開示事項がない場合は，末尾に「本論文内容に関連する著者の利益相反：なし」の文言を記載する。
4. 原稿の種類：原著，総説，調査報告，症例報告，短報，論壇，講座，報告，学生論文，CPC報告，レター，書評，各種会合記事，雑報など未発表のものに限る。原稿の内容は，医学，医療学に関連する分野とし，その他の分野の原稿は編集委員会の承認が必要となる。なおCPC報告は「抄録・キーワード・文献(考察)」を追加することによって症例報告（編集委員会が認めた場合には原著）とすることができる。その場合の投稿料は半額とする。
5. 原則として査読は学部内外各1人ずつの査読者により行われる。投稿者は本人の所属機関以外の査読候補者3人以内を推薦することができるが，査読者の決定は編集委員会が行う。
6. 倫理的配慮：人を対象とする研究はヘルシンキ宣言（1964年，第18回WMAにて採択，2013年第7次改訂）の精神に基づき行われたもので，所属機関の研究倫理委員会等の承認を受けたものでなければならない。動物を用いた論文は所属機関の動物倫理規定を遵守して所属機関長等の承認を得たものでなければならない。その旨を必ず記載しなければならない。
7. 論文の長さ・形式：(1)用語は日本語を原則とする。
 (2)A4版上下左右に2.5 cm以上の余白をとり，およそ38字×30行（英文要旨はダブルスペース），11ポイント以上で文書および図表データ，チェックリスト，著作権譲渡確認書，利益相反開示事項の5種類を提出する。題名，要旨（和文および英文），本文，謝辞，参考文献，図の説明，図表の順で記載し，頁数は下中央余白に表紙，本文，図表も含めすべて連続して記載する。
 (3)原稿の本文文字・語数，図表数，抄録，キーワード数，参考文献数の上限は原則下記の通りとする。本文には，表題，要旨が含まれるが，図表とその説明は含まれない。

種類	本文（和文）	図表	抄録（和文）	抄録（英文）	キーワード	参考文献
原著	10,000字	15枚	600字	300語	3～5語	30
総説	10,000字	10枚	300字	200語	3～5語	100
調査報告	10,000字	15枚	600字	300語	3～5語	30
症例，短報	8,000字	10枚	300字	200語	3～5語	20
論壇，講座 報告，学生論文	2,000字	5枚	300字	—	3語	30
CPC報告	8,000字	10枚	—	—	—	—
レター	1,000字	3枚	—	—	—	5
その他	6,000字	10枚	—	—	—	—

- (4)語と文体：和文原稿は口語体，現代仮名づかいを用い，学術用語は学会制定の医学用語を用い，動植物名，日本語化した外国語は片仮名書とする。
- (5)略語：正式略語と慣習的に広く用いられている略語を用いてよいが，初出は，完全語の後に（ ）内に略語を記載する。
- (6)度量衡の単位：長さ，高さ，重さ，容積の測定値はメートル法，もしくは10の整数乗倍で表記す

- る。文末に詳記。
- (7) 文献の番号は引用順に、本文中の引用箇所には肩番号¹, ^{1,2}, ¹⁻⁴をつける。
- (8) 著作権のある図表などの引用に際して、著作権の取得者や著者から許可を前もって得ておく必要がある。
- (9) 原稿の具体的な書き方：
- ① 表紙：題名、表題名が長い場合には30字以内のheading（欄外見出し）を指定する。著者名、所属機関、部門（学部）、教室名、連絡先の住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス
 - ② 要旨：原著、総説、短報、症例報告では和文（原稿の2頁目）および英文要旨（英文標題含む。原稿の3頁目）を記載する。原著論文の要旨は、日本語600字、英語300語で、背景background、方法methods、結果results、結論conclusionsからなる構造化要旨structured abstractとする。調査報告は、日本語600字、英語300語以内の非構造化要旨とする。総説、症例報告、短報は、日本語300字、英語200語以内の非構造化要旨とする。論壇、講座、報告、学生論文は300字以内の日本語非構造化要旨とする。略語はなるべく避ける。
 - ③ 日本語と英語のキーワードをそれぞれ3～5語、要旨の後に記載する。
 - ④ 本文：
 - i) 序文：研究の目的と合理性について述べ、文献の引用は研究の背景として重要なものに留める。
 - ii) 対象と方法：対象、症例、動物、試薬、対照、方法、統計解析法を記載する。薬剤は一般名、化学物質名で記載するが、初出時に商品名は製造所名、都市と共に括弧内に記載できる。
 - iii) 結果：得られた知見を詳細に記載するが、図表で示されたデータを繰り返し記載せず、強調すべき所見のみを記載する。
 - iv) 考察：重要で意味のある所見を述べるが、結果で記述したことを詳しく繰り返すことはしない。既報の結果との比較を行い、本研究で得られた所見について自身の意見を述べる。結果で述べられなかった所見を新たに記載しない。
 - v) 謝辞：実質的に貢献した人、研究助成金などに対して謝辞を述べる。
 - vi) 利益相反の開示：後頁に詳記した論文投稿における利益相反開示事項にて記載した項目を述べる。該当が無い場合もその旨述べる。
 - vii) 参考文献：論文に引用された順に番号をつける。雑誌名はCumulated Index Medicusに従って記載する。私信personal communicationsおよび未発表データは引用しない方がよいが、引用する場合は、番号をふらず本文中に括弧して記載し、著者の承諾書を添付する。
- ◎雑誌の場合・・・著者名（3名まで記載し4名以後は和文の場合、「他」、英文の場合“et al.”、最終発表者の前に“and”をつけない）。表題名。雑誌名 西暦年；巻：最初頁-最終頁（最初頁の同数は省略）。
- (例) 1. Alfa BC, Beta CD, Gamma DE, et al. Diuretic drugs in patients with impaired renal function. *Am J Cardiol* 1966; 17: 642-7.
2. Alfa BC, Beta CD, Gamma DE. Diuretic drugs in patients with impaired renal function. *Am J Cardiol* 1966; 17: 642-7.
3. Alfa BC, Beta CD. Diuretic drugs in patients with impaired renal function. *Am J Cardiol* 1966; 17: 642-7.
4. 北里太郎, 北島次郎, 志賀三郎, 他. 腎機能不全患者における利尿剤. *北里医学* 2003; 33: 89-92.
5. 北里太郎, 北島次郎, 志賀三郎. 腎機能不全患者における利尿剤. *北里医学* 2003; 33: 89-92.
6. 北里太郎, 北島次郎. 腎機能不全患者における利尿剤. *北里医学* 2003; 33: 89-92.
7. Mizuno K, Bähinger HP, Imamura Y, et al. Fragility of reconstituted type V collagen fibrils with the chain composition of $\alpha 1(V)\alpha 2(V)\alpha 3(V)$ respective of the D-periodic banding pattern. *Connect Tissue Res* 2012 Oct 23. [Epub ahead of print] (in press) doi:10.3109/03008207.2012.734876
- ◎単行本の場合（編者なし）・・・著者名：書名。初版以外の場合はその版、発行所、発行地名、出版年、引用頁。
- (例) 1. Alfa BC, Beta CD. *Kidney and renal failure*, 3rd edition. St. Louis: CV Mosby; 1987; 474-93.
2. 北里太郎. 腎不全患者における利尿剤, 第3版, 南江堂, 東京, 1964, p.90.

◎単行本の場合（編者と著者が異なる）・・・著者名：表題名，書名．初版以外の場合はその版，編者，発行所，発行地名，出版年，引用頁．

(例) 1. Alfa BC, Beta CD. Diuretic drugs in patients with impaired renal function, 3rd edition. In Gamma DE, Delta EF, editors. Volume 8: *Kidney and renal failure*. St. Louis: CV Mosby; 1987; 474-93.

2. 北里太郎. 腎不全患者における利尿剤. 新内科学大系, vol. 4, 治療論II, 北島次郎, 志賀三郎編, 南江堂, 東京, 1964. p.90-8.

◎Web ページの場合・・・著者名：表題名. URL. 引用年月日.

(例) 1. 日本救急医学会. 喘ぎ呼吸. URL: <http://www.jaam.jp/html/report/dictionary/word/0912.htm>. 2007/7/11.

⑤図 Figure：グラフ，図形，写真，フローチャート，線画は図に含まれる。カラー写真を希望する場合は費用全額を著者負担とする。図は電子画像を提出する。白黒，カラーを問わず，画像解像度は少なくとも 350 dpi でなくてはならない。精密な再現を要する画像の場合は，700 dpi 以上が望ましい。

図の説明文は，原著，総説，症例・短報においては原則として英文とする。図の表題と説明文は図と別の紙にまとめて記載する。図の番号は本文で引用される順にアラビア数字である（例 Figure 1）。本文頁の右欄外に記入し，挿入位置を指定する。複数の図を組み合わせるとして1つの図とする場合には，各図にA, B, C…とアルファベットの太文字（Times New Roman Bold）で記載する。

⑥表 Table：表は一つずつ別の頁に記入し，投稿論文の最後に入れる。表および表題は，英文抄録を付したもののについては原則として英文とする。表題は簡潔にし略語や注は表の脚注に記載する。表の番号は本文で引用される順にアラビア数字である（例 Table 1）。本文の右欄外に表番号を記入し，挿入位置を指定する。別にExcelやPowerPointなど元の作表データも提出する。

⑦単位の表記について：巻末頁を参照

8. 原稿の採否：編集委員会で決定する。

9. 校正：初校のみ著者校正とする。この際，原則として文章の削除または挿入は許されない。最終校の校正を著者に依頼することもある。

10. 掲載料：掲載頁数が1～5頁は20,000円とする。以降1頁増えるごとに10,000円を加算する。カラー印刷費用は片面のみの場合9,000円，両面の場合18,000円とする。

11. 原稿送付先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町332-6
パブリッシングセンター(株)国際文献社内
『北里医学』編集事務局
e-mail アドレス kitasatomed-edit@bunken.co.jp

12. チェックリスト：チェックリストは原稿を投稿する時に記入し提出する。フォームは本誌をコピーするか、インターネット上で取得可能である。

1) 一般的事項

- 投稿に際し、文書および図表データの提出がある。
- 字数：字数は本文で _____ 字である。
- チェックリストはすべて記入されている。
- 所属機関はヒトに関する研究について倫理審査委員会で承認している。
- 所属機関での倫理審査委員会は研究計画 _____ に対する承認を _____ 年 _____ 月 _____ 日に行った。
- 実験材料と方法に記載された施設は実験動物の取り扱いガイドラインに従っている。動物種については表題、抄録、キーワード、材料と方法に記載されている。
- フォントサイズは11またはそれ以上であり、ページの端より2.5センチ以上余白がある。英文の場合は2行間隔でタイプされている。
- 全ページの下部の余白中央に以下の順で番号が付けられている。表題、和文要旨とキーワード、英文要旨とキーワード、序文、対象と方法、結果、考察、謝辞、参考文献、図の説明、図、表。
- すでに発表されている表、図、引用の使用にあたっては、著作権所有者のサイン入りの承諾書と参考文献を原稿に添付している。
- 私信や発表されていないデータについては引用する人からのサイン入りの承諾書を添付している。

2) 著者資格

- カバーレターにて、私/私たちはすべての著者が著者資格に求められている条件を満たしていることを確認している。

3) 利害関係の衝突

- カバーレターにおいて利害関係の衝突を生じさせうる著者または共著者の営利団体との関係がないことが記述されている。

4) 査読者を指名する場合

- 投稿者の所属機関に属さない3名以内の査読者の名前、所属機関、住所、電話・FAX番号、e-mailアドレスが同封されている。

5) 表紙

- 下記のものが順にならんで記載されている。
 - ・ タイトル、著者名、連絡先住所、電話、FAX番号、e-mailアドレス
 - ・ 所属機関名、学部、教室
 - ・ 別刷を送付すべき著者の名前、住所、電話・FAX番号、e-mailアドレス
 - ・ 別刷がいない場合は表題にその旨を記載している
- もし連絡先となる著者が別刷を送るべき筆者と異なる場合には、別刷送付先著者の名前、住所、職場と家の電話・FAX番号、e-mailアドレスが示されている。

6) 要旨とキーワード

- 和文要旨は2頁目に標題、著者の名前、所属の下に書かれている。抄録の下に3から5個のキーワードを記載してある。
- 英文要旨は3頁目に英文標題、著者の名前、所属の下に書かれている。抄録の下に3から5個のキーワードを記載してある。
- 原著論文の場合は、日本語600字、英語300語以内の構造化要旨とする。要旨は背景、方法、結果、結論の4つからなり、それぞれを簡略にまとめられている。
- 総説、症例報告、短報は、日本語300字、英語200語以内の非構造化要旨とする。
- 論壇、講座、報告、学生論文は300字以内の日本語非構造化要旨とする。

7) 参考文献

- 引用された順に並べられている。
- 投稿規定に従って、記載している。
- 私信や出版されていない知見については参考文献として記載せず、テキストのなかで本人の書面での了承をとったことが言及されている。

8) 図

- 本文で引用された順にアラビア数字で番号が付けられている。
- 英文が必要な論文では英語で書かれている。
- 図の説明は図と同じ頁にかかれていない。
- サイズの一貫性は保たれている。
- 図について著者からの要求事項がある場合は詳細に示されている。

9) 図の説明

- 図とは別の紙にまとめて書かれ、順に示されている。
- 英文が必要な論文では英語で書かれている。
- 著作権のある図については原典からの完全な著作権表示が記載されている。

10) 表

- それぞれの表にタイトルとローマ数字が付けられ、本文の中での引用順である。
- 英文が必要な論文では、英語で書かれている。

11) 著作権声明

- 著作権譲渡確認書（次頁）の添付がある。
- 共著者全員の署名または捺印がある。
- 共著者全員へ論文の投稿を知らせるためのe-mailアドレスを記載している。

12) 利益相反の開示

- 論文投稿における利益相反開示事項記載要項（次々頁）、「9. 寄附講座」における検討項目（寄附講座所属者のみ）の添付がある。
- 筆頭者及び責任著者の署名または捺印がある。責任著者が筆頭者と異なる場合は各々添付する。

署名 _____

日付： ____年 ____月 ____日